

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～21℃台を示し、やや低め～平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の48%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の65%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マルソウダなどが1日1統当たり123kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり98kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり157kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/9～12/13の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登沖～佐渡沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、海峡悪く壱岐・対馬沖で僅か操業。鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>